

高校生対象

「ひらめき☆ときめきサイエンス」 「オープンラボ」を開催

関西学院大学工学部は理科や実験が好きな高校生を対象にしたイベント「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」(独立行政法人日本学術振興会事業)と「一日体験入学オープンラボ」を開催する。

本イベントでは工学部教員が最新の施設を備えた研究室や実験室で講義するほか、自然科学の面白さを実際に体験してもらうために、有機ELディスプレイの発光材料を作ったり、川の水を分析したり、さまざまな実験を実施する。大学生・大学院生が学生生活について紹介するコーナーもある。

■日時:7月26日(日)10時～16時

■場所:神戸三田キャンパスIV号館

■対象:高校生(高校教員の参観も可)

■申し込み・問い合わせ:

工学部事務室(079・565・8300)



【ひらめき☆ときめきサイエンス 体験プログラム】

★化学科:「有機ELディスプレイの発光材料を作ろう」

畠山琢次 准教授

★数理科学科:「数学でわかる自然と社会:年代測定、人口増加、振り子の同期」

山根英司 数理科学科教授 大崎浩一 教授

★物理学科:「X線で探るナノ構造体の世界」

高橋功 教授

【一日体験オープンラボ】

★先進エネルギーナノ工学科:「21世紀を拓くダイヤモンド」

鹿田真一 教授

★環境・応用化学科:「地球と環境の化学」「水と環境の関わり—環境水を分析する—」

壺井基裕 教授

★生命科学科:「細胞周期について」「酵母の細胞手記を観察してみよう!」

田中克典 教授

★生命医化学:「心は遺伝するか?」「マウスの行動テスト」

海老原史樹文 教授

★情報科学科:「データ解析演習:人類は100m走を何秒まで縮められるか?」

猪口 明博 准教授

★人間システム工学科:「インタラクティブってどういうこと?」

「コンピューターグラフィックス演習」

井村 誠孝 教授
山本倫也 教授

兵庫県と関学大産業研究所が 協力協定締結 ～地域景気指標を共同で作成～



兵庫県と関西学院大学産業研究所は7月15日(水)、調査研究に関する協力協定を締結する。県と研究所が共同で定期的に地域景気指標を作成し、研究所のHPから景気指標を公開する。研究所が関わることで、他府県の景気動向や経済情勢の分析・比較、さらにその情報公開の可能性が広がる。

関学大産業研究所は社会の経済活動について多面的なアプローチ・分析研究を行っている研究機関で、本連携により、兵庫県の地域経済の活性化、適切な地域経済運営、人材育成などに貢献していく予定。

兵庫県と関西学院大学は、これまで大学における講座への講師派遣や兵庫県景気動向懇話会等において、経済統計の推計手法の研究を協力して行ってきた。こうした官学協力をさらに推し進め、兵庫県政に研究機関として貢献できる機会を増やしていくことを考えている。両者はそれぞれが保有する統計データの交換、シンポジウムや研究会、講演会などの実施、両者の行う事業への県民や関学大生の参加の促進なども予定している。

関学大産業研究所長の高林喜久生・経済学部教授は「このように研究所が組織として行政と協定し、共同研究するのは珍しい取り組み。協定締結により、地域経済とのつながりを深めたい」と話す。

兵庫県との協力協定締結式

■日時:2015年7月15日(水)10時～10時30分

■場所:兵庫県政策創生部長室(兵庫県庁第2号館3階)

■署名者:

兵庫県政策創生部長 西上 三鶴 氏

関西学院大学産業研究所長 高林 喜久生・経済学部教授

■問い合わせ:関西学院大学産業研究所

(tel:0798-54-6127 Email:sanken@kwansei.ac.jp)

次号 7月21日(火)発行予定